

活動事例

産業界支援

支援先

スマートフォン向け新アプリケーション
研究開発コンソーシアム、関東情報サー
ビス株式会社

「なめがたを食べよう！！」なめがた弁レ
シピ ～スマホアプリ開発事例紹介～

【内 容】

県内ソフトウェア業界支援として、産学官連携による地域密着型アプリケーションの研究開発を行って「スマートフォン向け新アプリケーション研究開発コンソーシアム」（略称：スマこん）活動での、勉強会から企画プレゼン、検討まで一連の支援を行っています。

その中でもユニークなスマホアプリ開発事例を紹介いたします。スマこん会員の関東情報サービス株式会社では、いばらきを元気にしたいという思いから、なめがた弁の郷土料理レシピに注目し、なめがたの食材を使ったレシピをなめがた弁で読めて聞けるスマートフォンアプリを開発しました。開発ノウハウ等と同じスマこん会員企業から導入するなど企業連携をフルに活用しました。

開発効果として、マスコミに取り上げられ会社のPRやスマホアプリの開発技術蓄積につながりました。今後もスマこん活動の中から地域密着型スマホアプリの開発が期待されます。



図1 アプリ紹介&ダウンロードページ

基礎となった事業

平成 25 年度 試験研究指導費（標準）

現在の担当部門

技術基盤部門 部門長 平野 聡 TEL:029-293-8575

活動事例

産業界支援

支援先

茨城マグネシウム工業会

第 5 回国際マグネシウム展
in 東京ビッグサイト 2013

【内 容】

工業技術センターは、茨城マグネシウムプロジェクト事業化支援事業から平成 19 年に設立された茨城マグネシウム工業会や、マグネシウム関連企業を支援しています。

茨城マグネシウム工業会主催の「国際マグネシウム展」は環境にやさしいマグネシウムの普及と、マグネシウム製品・技術のPRを目的に平成 20 年から開催しています。17 の企業・機関が出展した今回は、東京ビックサイトにおいて 11 月 6 日から 8 日に開催しました。

展示会ではマグネシウム合金の軽量性を生かしたカメラの筐体やスプレーガン等の製品や、先端材料部門で研究を進めているマグネシウム合金の摩擦攪拌接合に関する研究成果等を紹介しました。同時開催の先端材料技術展を含め 2 万人を超える来場があり、大変盛況でした。



図1 展示会場の様子

基礎となった事業

平成 17～20 年度 茨城マグネシウムプロジェクト事業化支援事業

現在の担当部門

先端材料部門 部門長 齋藤 和哉 TEL:029-293-7492
主任研究員 行武栄太郎
主任 磯山 亮
技 師 早乙女秀丸
技 師 上田 聖
技 師 石川 裕理